

平成25年度 大学機関別認証評価

エビデンス集（データ編）

[日本高等教育評価機構]

平成25(2013)年6月

京都嵯峨芸術大学・大学院

データ作成に関する注意事項

以下の注意事項に従って作成してください。なお、個々の様式に注釈がある場合、この限りではありません。

- 1 原則として受審年度5月1日現在のデータを記載してください。前年度等指示がある場合も同様に、毎年5月1日時点のデータを記載してください。
- 2 小数点以下は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで記載してください。
- 3 指定するデータ以外に、大学独自のデータを追加する場合は、コードを各基準の末尾に続けて記載し、タイトルも付けてください。
【例】基準3のデータを追加する場合...表3-9「タイトル」
- 4 該当しない項目がある場合、タイトルの横に「該当なし」と記載してください。また、目次にもその旨を記載してください。
- 5 データ内に該当しない個所がある場合、「-」を記載してください。
- 6 様式が当てはまらない場合、備考欄や欄外に注釈を記載してください。
表は、わかりやすい形に加工することができます。また、既に作成しているデータがある場合、それに代えることもできます。
- 7 複数ページにわたる場合、タイトルは初ページ、注釈は終ページのみに残してください。
- 8 様式に付されている注釈は削除せず残してください。
- 9 MS明朝体を使用し、英数字のみCenturyを使用してください。
- 10 評価機構担当者が決定するまでの間、「データ編」に関する不明点がある場合は、hyoukakikou@jihee.or.jpまで問い合わせてください。
- 11 提出後にデータの変更があった場合、実地調査終了時までは機関長名で修正又は再提出することができます。
その後は、その都度評価機構担当者に問い合わせてください。
- 12 通信教育課程のみの大学及び大学院大学等についても、個々の様式に準じて記載してください。

目 次

【表F-1】	大学名・所在地等	1
【表F-2】	設置学部・学科・大学院研究科等／開設予定の学部・学科・大学院研究科等	2
【表F-3】	学部構成（大学・大学院）	3
【表F-4】	学部・学科の学生定員及び在籍学生数	4
【表F-5】	大学院研究科の学生定員及び在籍学生数	5
【表F-6】	全学の教員組織（学部等）	6
【表F-6】	全学の教員組織（大学院等）	7
【表F-7】	附属校及び併設校、附属機関の概要	8
【表F-8】	外部評価の実施概要	9
【表2-1】	学部、学科別の志願者数、合格者数、入学者数の推移（過去5年間）	10
【表2-2】	学部、学科別の在籍者数（過去5年間）	15
【表2-3】	大学院研究科の入学者数の内訳（過去3年間）	17
【表2-4】	学部、学科別の退学者数の推移（過去3年間）	18
【表2-5】	授業科目の概要	19
【表2-6】	成績評価基準	30
【表2-7】	修得単位状況（前年度実績）	31
【表2-8】	履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）	32
【表2-9】	就職相談室等の利用状況	33
【表2-10】	就職の状況（過去3年間）	34
【表2-11】	卒業後の進路先の状況（前年度実績）	35
【表2-12】	学生相談室、医務室等の利用状況	36
【表2-13】	大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）	37
【表2-14】	学生の課外活動への支援状況（前年度実績）	38
【表2-15】	専任教員の学部、研究科ごとの年齢別の構成	39
【表2-16】	学部の専任教員の1週当たりの担当授業時間数（最高、最低、平均授業時間数）	40
【表2-17】	学部、学科の開設授業科目における専兼比率	41
【表2-18】	校地、校舎等の面積	45
【表2-19】	教員研究室の概要	46
【表2-20】	講義室、演習室、学生自習室等の概要	47

【表2-21】	附属施設の概要（図書館除く）	48
【表2-22】	その他の施設の概要	49
【表2-23】	図書、資料の所蔵数	50
【表2-24】	学生閲覧室等	51
【表2-25】	情報センター等の状況	52
【表2-26】	学生寮等の状況	53
【表3-1】	職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）	54
【表3-2】	大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況	55
【表3-3】	教育研究活動等の情報の公表状況	56
【表3-4】	財務情報の公表（前年度実績）	57
【表3-5】	消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）（過去5年間）	58
【表3-6】	消費収支計算書関係比率（大学単独）（過去5年間）	59
【表3-7】	貸借対照表関係比率（法人全体のもの）（過去5年間）	60
【表3-8】	要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）	61

表F-1

大学名・所在地等

大学名	京都嵯峨芸術大学	設置形態	<input checked="" type="radio"/> 私立・ <input type="radio"/> 国立・ <input type="radio"/> 公立
キャンパス の所在地	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地		
	〒616-8334 京都市右京区嵯峨罌原町8番地 (罌原キャンパス)		
	〒		
	〒		

理事長名	服部 精村		学長名	森本 武
学部長名	芸術学部長	三宅 章介		
研究科長名	芸術研究科長	三宅 章介		
大学 事務局長名	小澤 昇士			

- ① 設置形態は該当箇所に○印をつけること。
 ④ 大学事務局長の欄には、大学事務局長又は相当者を記載すること。

表F-2

設置学部・学科・大学院研究科等／開設予定の学部・学科・大学院研究科等

名 称	設置認可年月日	開設年月日	所 在 地	備 考
芸術学部 造形学科	H. 12. 12. 21	H. 13. 4. 1	京都市右京区嵯峨五島町1番地	
芸術学部 観光デザイン学科	H. 12. 12. 21	H. 13. 4. 1	京都市右京区嵯峨五島町1番地	H22. 3. 30学生募集停止届出
大 学 院 芸術研究科	H. 16. 11. 30	H. 17. 4. 1	京都市右京区嵯峨五島町1番地	
芸術学部 メディアデザイン学科	H. 18. 4. 26	H. 19. 4. 1	京都市右京区嵯峨五島町1番地	H22. 3. 30学生募集停止届出
芸術学部 デザイン学科	H. 22. 4. 28	H. 23. 4. 1	京都市右京区嵯峨五島町1番地	

- ① 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載すること。
- ② 当該研究科もしくは専攻が、専門職大学院である場合は、備考欄にその旨を記載すること。
- ③ 教養教育科目・外国語科目・保健体育科目・教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならって記載すること。
その場合は、「設置認可年月日」欄は斜線を引くこと。
- ④ 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載すること。
- ⑤ 学部、学科、研究科等が、改組または名称変更等をしている場合は、備考にその時期と名称等を記載し、変遷がわかるようにすること。
- ⑥ 学部、学科、研究科等が、届出のみで認可を受けた場合の「設置認可年月日」は、届出年月日を記載し、その旨を備考に記載すること。
- ⑦ 学部、学科、研究科等が、募集を停止している場合や完成年度に達していない場合は、その旨を備考に記載すること。
- ⑧ 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、下表に記載すること。

名 称	開設予定年月日	所 在 地	備 考

表F-3

学部構成（大学・大学院）

【学部】

芸術学部		
造形学科 観光デザイン学科 メディアデザイン学科 デザイン学科		

【大学院】

芸術研究科		
芸術専攻（修士課程）		

表F-4

学部・学科の学生定員及び在籍学生数

学 部	学 科	入 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員 (a)	在籍学生 総数 (b)	編入学 生数 (内数)	b/a	在 籍 学 生 数								男女比率 男：女	備 考
								1年次		2年次		3年次		4年次			
								学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)		
芸術学部	造形学科	85	16	372	231	4	0.62	54	0	63	2	50	1	64	8	2:8	
	デザイン学科	95	13	406(298)	224	1	0.75	70	2	85	2	69	0	0	0	2:8	新
	メディアデザイン学科	0	0	0(55)	63	5	1.15	0	0	2	0	8	0	53	5	3:7	旧
	観光デザイン学科	0	0	0(48)	38	2	0.79	0	0	0	0	3	0	35	2	2:8	旧
芸術学部計		180	29	778(773)	556	12	0.72	124	2	150	4	130	1	152	15	2:8	
合 計		180	29	778(773)	556	12	0.72	124	2	150	4	130	1	152	15	2:8	

- ① 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記載すること。
- ② 4年間（医、歯、薬、獣医に関する学部・学科は6年間）の入学定員、臨時的定員、編入学定員を確認の上、収容定員を計算すること。
- ③ 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入学定員に変更があった場合、また行っている場合には、入学定員及び編入学定員の欄には変更後の数を記入し、収容定員の欄には学則に記載してある収容定員（現在の入学定員×4年間又は6年間＋編入学定員）を記載するとともに括弧書きで1年から4年または6年までの入学定員を足した実際の定員の数に記載し、「備考」にその旨を記載すること。新設学部、学科の記載も同様です。
- ④ 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載すること。
- ⑤ 年度により定員が変動している場合は、備考欄にその理由を記載すること。
- ⑧ 留年者には、休学や留学によって進級が遅れた者は含めないこと（進級要件を設定していない大学で、2年次に留学もしくは休学した学生が、4年で卒業できず、留年となった場合は2年次、4年次のいずれの留年者数にも含めないこと）。
- ⑨ 「b/a」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。
- ⑩ 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成すること。
- ⑪ 男女比率については、全体を10として、整数で表示すること。
- ⑫ 編入学定員については、「若干名」の場合は「0」と記載すること。

※留年者には、単位取得都合により休学した学生を含めている。

表F-5

大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数								c/a	d/b	男女比率 男：女	備考
		修士課程	博士課程	修士課程 (a)	博士課程 (b)	修士課程				博士課程							
						一般	社会人	留学生	計(c)	一般	社会人	留学生	計(d)				
芸術研究科	芸術専攻	8		16		8	0	3	11					0.69		2:8	
芸術研究科計		8		16		8	0	3	11					0.69		2:8	
合計		8		16		8	0	3	11					0.69		2:8	

- ① 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載すること。また、5年一貫制及び4年一貫制（医・歯学部、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の博士課程は博士課程の欄に記載すること。
- ② 専門職学位課程は、備考欄に（専門職）と記載し、付与する学位の種類に対応する欄に記載すること。
- ③ 「c/a」及び「d/b」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。
- ④ 「一般、社会人、留学生」欄について、社会人は社会人枠の入試形態による、留学生は留学ビザがある学生、それ以外は一般とみなす。
- ⑤ 男女比率については、全体を10として、整数で表示すること。

表F-6
全学の教員組織（学部等）

学部・学科、その他の組織		専任教員数					助手	設置基準上 必要専任 教員数	設置基準上 必要専任 教授数	専任教員 1人当た りの在籍 学生数	兼担 教員数 (b)	兼 任 (非常勤) 教員数 (c)	非常勤 依存率(%) $\frac{c}{a+c} * 100$	TA・RA等				備考
		教授	准教授	講 師	助教	計(a)								TA	RA	その他	合計	
芸術学部	造形学科	11	3	1	0	15		7	4		0	46	75.4%					
	デザイン学科	11	5	1	0	17		8	4		0	30	63.8%					平成23年4月より、観光デザイン、メディアデザイン学科を統合してデザイン学科に再編。現在3年次まで在籍
芸術学部計		22	8	2	0	32		15	8		0	76	70.4%					
その他の組織	講義部門	0	0	0	0	0					0	38						
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数								12	6									
合 計		22	8	2	0	32	0	27	14		0	114	70.4%	0	0	0	0	0

* 次ページあり

表F-6
 全学の教員組織（大学院等）

研究科・専攻、研究所等		専任教員数					助手	設置基準上必要研究指導教員数	設置基準上必要研究指導教員数及び研究指導補助教員数合計	研究指導教員数及び研究指導補助教員数合計	研究指導教員数	研究指導補助教員数	兼任教員数 (b)	兼任 (非常勤) 教員数 (c)	TA・RA等				備考
		教授	准教授	講師	助教	計(a)									TA	RA	その他	合計	
芸術研究科	芸術専攻						4	6				31	2						
芸術研究科計																			
芸術文化研究所							/	/	/	/	/								
合計																			
合計																			

- ① 教員については、学部・大学院研究科・研究所等、所属組織ごとに大学の発令に基づき記載すること。
- ② 専任教員とは、常勤する者をいい、兼任教員とは、学外からの兼務者をいう。また、兼任教員は、同一法人内の短大、専門学校等の教員も含む。
- ③ 現在の在籍学生に関する入学定員及び編入学定員に変更があった場合、また、行っている場合には、学則に記載してある収容定員（現在の入学定員×4年間または6年間+編入学定員）に基づき、設置基準上必要教員数を算出するとともに括弧書きで1年から4年または6年までの入学定員を足した実際の定員数により算出された教員数を記載すること。
- ④ 「設置基準上必要専任教員数」欄の記載方法は大学設置基準第13条、別表第1、別表第2に基づき記載すること。
- ⑤ 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等学部に関連する独立の組織がある場合には、「（その他の組織）」欄に、その名称を記載すること。
- ⑥ 大学院大学の場合は、設置する研究科・専攻について、「全学の教員組織（学部等）」の記載欄に準じて記載すること。
- ⑦ 専門職大学院を有する場合は、「全学の教員組織（学部等）」の記載欄に準じて、新たに表を作成すること。また、専門職大学院の専任教員が他の組織で専任扱いになっている場合は、専任教員として両方ともカウントし、その旨を備考欄に記載すること。
- ⑧ 名称変更している学科や統合した学科については、新旧の2つの学科をあわせて専任教員数を記載し、その旨を備考欄に記載すること。
- ⑨ 1人の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれカウントすること（重複可）。もしくは、大学の実状によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記載してもよい。
- ⑩ 1人の兼任教員が複数の学部を担当する場合は、本務以外の学部の兼任教員欄にそれぞれカウントすること（重複可）。もしくは、大学の実状によっては、学部に関わる兼任教員数の欄は、学科ごとではなく学部全体で記載してもよい。
- ⑪ 学部の教員が研究科の教員を兼ねている場合、兼任とみなす。
- ⑫ 履修者がいない科目を担当している教員、及び修士の論文指導だけを担当している教員についても専任教員としてカウントすること。
- ⑬ 専任教員に渡航者がいる場合は、渡航者を含んだ教員数を記述し、渡航者の状況については、備考欄に記載すること。
- ⑭ TA(Teaching Assistant)、RA(Research Assistant)がいる場合は、それぞれ担当している学科、研究科の欄に人数を記載すること。
- ⑮ 「設置基準上必要研究指導教員数」及び「設置基準上必要研究指導教員数と研究指導補助教員数合計」欄の記載方法は「大学院設置基準第9条の規定に基づく大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数」（平成11年9月14日文部省告示第175号）に基づき記載すること。
- ⑯ 医学、歯学関係の研究科を有する場合は、「博士課程」「修士課程」に分けて、それぞれ記載すること。

表F-7

附属校及び併設校、附属機関の概要

名 称	開設年月日	所 在 地	機関の長
京都嵯峨芸術大学短期大学部	昭和46年4月1日	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地	森本 武
芸術文化研究所	平成11年4月1日	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地	佐々木 正子
アーツスペース嵯峨	平成10年4月1日	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地	村上 文生
観光デザイン研究センター	平成13年4月1日	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地	真板 昭夫
京都嵯峨芸術大学附属博物館	平成13年4月1日	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地	村上 文生

- ① 同一法人内の附属校（幼稚園、小・中学校、高等学校、短期大学等）及び併設校がある場合はすべて記載すること。
- ② 附属機関（附属病院、附属研究所、博物館等）がある場合はすべて記載すること。ただし、図書館は除くこと。

表F-8

外部評価の実施概要

評価機関名	評価時期(年 月)	機関別・プログラム別	備考
日本高等教育評価機構	平成18年3月		

- ① 認証評価に関わらず、JABEE（日本技術者教育認定機構）、ISO（環境、情報セキュリティー等）、その他第三者評価等の外部評価を受けた実績がある場合はすべて記載すること。
- ② 評価時期には、評価結果を受け取った時期を記載すること。また、進行中の場合も記載し、その旨を備考に記載すること。

表2-1

学部、学科別の志願者数、合格者数、入学者数の推移（過去5年間）

【学科】

		入試の種類	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
芸 術 学 部	造 形 学 科	一般入試	募集定員	30	30	20	12	12
			志願者	50	54	39	21	13
			合格者	36	35	25	18	10
			入学者	11	12	10	8	6
		センター入試	募集定員	5	5	6	6	6
			志願者	38	24	24	22	7
			合格者	32	16	21	21	4
			入学者	4	0	2	1	2
		AO入試	募集定員	14	14	20	41	41
			志願者	45	29	40	38	32
			合格者	24	22	15	22	20
			入学者	24	22	15	22	18
		附属校推薦	募集定員	—	—	—	—	—
			入学者	—	—	—	—	—
		指定校推薦	募集定員	5	5	6	5	5
			志願者	10	9	8	8	11
			合格者	10	9	8	8	11
			入学者	10	9	8	8	11
		公募推薦入試	募集定員	30	30	30	20	20
			志願者	109	77	71	48	27
			合格者	72	45	41	31	19
			入学者	19	13	18	16	9
		その他 (社会人・留学生・ 帰国生徒等を含む)	募集定員	0	0	0	0	0
			志願者	2	2	7	1	2
合格者	2		2	5	1	2		
入学者	2		2	3	0	2		
学科合計	募集定員	85	85	85	85	85		
	志願者	254	195	189	138	92		
	合格者	176	129	115	101	66		
	入学者	70	58	56	55	48		

【学部】

		入試の種類	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
芸 術 学 部	デ	一般入試	募集定員			22	10	10
			志願者			35	70	52
			合格者			21	39	28
			入学者			12	11	11
	ザ	センター入試	募集定員			10	10	10
			志願者			33	51	32
			合格者			25	43	22
			入学者			7	7	4
	イ	AO入試	募集定員			19	45	45
			志願者			37	59	35
			合格者			26	46	25
			入学者			25	46	23
	ン	附属校推薦	募集定員			—	—	—
			志願者			—	—	—
			合格者			—	—	—
			入学者			—	—	—
	学	指定校推薦	募集定員			8	5	5
			志願者			14	9	12
			合格者			14	9	12
			入学者			14	9	12
	科	公募推薦入試	募集定員			33	24	24
			志願者			72	49	44
			合格者			44	29	26
			入学者			16	13	16
		その他 (社会人・留学生・ 帰国生徒等を含む)	募集定員			0	0	0
			志願者			4	0	1
			合格者			4	0	1
			入学者			3	0	1
	学科合計	募集定員			95	95	95	
		志願者			195	238	176	
		合格者			134	166	114	
		入学者			77	86	67	

【学部】

		入試の種類	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
芸 術 学 部	メ デ イ ア デ ザ イ ン 学 科	一般入試	募集定員	14	14		
			志願者	43	32		
			合格者	31	18		
			入学者	14	9		
		センター入試	募集定員	10	10		
			志願者	31	19		
			合格者	23	13		
			入学者	5	6		
		AO入試	募集定員	7	7		
			志願者	24	19		
			合格者	17	9		
			入学者	17	9		
		附属校推薦	募集定員	—	—		
			志願者	—	—		
			合格者	—	—		
			入学者	—	—		
		指定校推薦	募集定員	3	3		
			志願者	5	6		
			合格者	5	6		
			入学者	5	6		
		公募推薦入試	募集定員	15	15		
			志願者	75	71		
			合格者	43	44		
			入学者	20	20		
その他 (社会人・留学生・ 帰国生徒等を含む)	募集定員	0	0				
	志願者	1	3				
	合格者	1	1				
	入学者	0	0				
学科合計	募集定員	50	50				
	志願者	179	150				
	合格者	120	91				
	入学者	61	50				

【学部】

		入試の種類	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
芸 術 学 部	観 光 デ ザ イ ン 学 科	一般入試	募集定員	10	10		
			志願者	8	15		
			合格者	7	10		
			入学者	3	6		
		センター入試	募集定員	6	6		
			志願者	13	12		
			合格者	12	12		
			入学者	4	2		
		AO入試	募集定員	10	10		
			志願者	8	12		
			合格者	7	6		
			入学者	7	6		
		附属校推薦	募集定員	—	—		
			志願者	—	—		
			合格者	—	—		
			入学者	—	—		
		指定校推薦	募集定員	2	2		
			志願者	7	11		
			合格者	7	11		
			入学者	7	11		
		公募推薦入試	募集定員	11	11		
			志願者	18	14		
			合格者	13	9		
			入学者	4	2		
	その他 (社会人・留学生・ 帰国生徒等を含む)	募集定員	0	0			
		志願者	2	2			
		合格者	1	2			
		入学者	1	1			
	学科合計	募集定員	40	40			
		志願者	56	66			
		合格者	47	50			
		入学者	26	28			

【全学部】

入試の種類		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
全学部合計	一般入試	募集定員	54	54	42	22	22
		志願者	101	101	74	91	65
		合格者	74	63	46	57	38
		入学者	28	27	22	19	17
	センター入試	募集定員	21	21	16	16	16
		志願者	82	55	57	73	39
		合格者	67	41	46	64	26
		入学者	13	8	9	8	6
	AO入試	募集定員	31	31	39	86	86
		志願者	77	60	77	97	67
		合格者	48	37	41	68	45
		入学者	48	37	40	68	41
	附属校推薦	募集定員	—	—	—	—	—
		志願者	—	—	—	—	—
		合格者	—	—	—	—	—
		入学者	—	—	—	—	—
	指定校推薦	募集定員	10	10	14	10	10
		志願者	22	26	22	17	23
		合格者	22	26	22	17	23
		入学者	22	26	22	17	23
	公募推薦入試	募集定員	56	56	63	44	44
		志願者	202	162	143	97	71
		合格者	128	98	85	60	45
		入学者	43	35	34	29	25
	その他 (社会人・留学生・ 帰国生徒等を含む)	募集定員	0	0	0	0	0
		志願者	5	7	11	1	3
		合格者	4	5	9	1	3
		入学者	3	3	6	0	3
総合計	募集定員	175	175	180	180	180	
	志願者	489	411	384	376	268	
	合格者	343	270	249	267	180	
	入学者	157	136	133	141	115	

- ① 「その他」の欄には社会人、外国人留学生、帰国生徒に対する入試等についてまとめて記載すること。ただし、上の表に該当しない推薦入試を実施している場合は、「その他の推薦入試」欄を作成し、記載すること。
- ② セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表すること。
- ③ 編入学生は除くこと。
- ④ 募集定員については、「若干名」の場合は「0」と記載すること。
- ⑤ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、入試種類を実情に応じて変更して記載すること。

表2-2

学部、学科別の在籍者数（過去5年間）

学部	学科	平成21年度				平成22年度				平成23年度			
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)
芸術学部	造形学科	331	0	1	2	285		1	3	265	1	1	2
	デザイン学科									77	0	0	0
	メディアデザイン学科	176	0	0	0	220	0	0	0	166	0	0	0
	観光デザイン学科	138	1	0	1	111	1	0	1	83	1	0	0
芸術学部合計		645	1	1	3	616	1	1	4	591	2	1	2

【学部合計】

芸術学部合計	645	1	1	3	616	1	1	4	591	2	1	2
総合計	645	1	1	3	616	1	1	4	591	2	1	2

学部	学科	平成24年度				平成25年度				備考
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	
芸術学部	造形学科	256	1	1	2	231	1	2	1	
	デザイン学科	160	0	0	0	224	0	0	1	
	メディアデザイン学科	112	0	0	0	63	0	0	0	
	観光デザイン学科	63	1	0	0	38	1	0	0	
芸術学部合計		591	2	1	2	556	2	2	2	

【学部合計】

芸術学部合計	591	2	1	2	556	2	2	2	
総合計	591	2	1	2	556	2	2	2	

- ① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。
 ② 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は留学ビザがある学生をいう。科目等履修生等は含めないこと。

表2-3

大学院研究科の入学者の内訳（過去3年間）

修士課程

研究科	専攻	平成23年度 入学者数					平成24年度 入学者数					平成25年度 入学者数				
		入学者数の合計	一般	社会人	留学生	その他	入学者数の合計	一般	社会人	留学生	その他	入学者数の合計	一般	社会人	留学生	その他
芸術研究科	芸術専攻	5	5	0	1	0	6	4	0	2	0	4	4	0	0	0
芸術研究科計		6	5	0	1	0	6	4	0	2	0	4	4	0	0	0
合計		6	5	0	1	0	6	4	0	2	0	4	4	0	0	0

① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。

② 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は留学ビザがある学生をいう。科目等履修生等を含めないこと。

表2-4

学部、学科別の退学者数の推移（過去3年間）

学部	学科	平成22年度					平成23年度					平成24年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
芸術学部	造形学科	1	7	4	2	14	3	4	2	2	11	2	6	3	2	13
	メディアデザイン学科	2	5			7		1	3		4	2	1	2		5
	観光デザイン学科	3		1		4			1		1			2	1	3
	デザイン学科						3				3	2				2
芸術学部計		6	12	5	2	25	6	5	6	2	19	6	7	7	3	23
合 計		6	12	5	2	25	6	5	6	2	19	6	7	7	3	23

- ① 退学者数には、除籍者も含めること。
- ② 医、歯、薬、獣医学部（あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の場合には、6年次まで作成すること。
- ③ 毎年度3月31日現在の退学者数を記載すること。

表2-5

授業科目の概要

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
教養ゼミ	1	2			4				
芸術学概論	1・2・3・4		2						
コミュニケーション論ゼミ	1・2・3・4		2						
人間論	1・2・3・4		2						
宗教学	1・2・3・4		2		1				
文芸論A	1・2・3・4		2		1				
文芸論B	1・2・3・4		2						2013年度閉講
身体表現演習	1・2・3・4		2						2013年度まで
文章表現演習	1・2・3・4		2						
運動文化論A	1・2・3・4		2						2013年度まで
運動文化論B	1・2・3・4		2						2013年度まで
コミュニケーション論	1・2・3・4		2						
社会学	1・2・3・4		2						
生涯学習概論	2・3・4		2		1				
文化人類学	2・3・4		2						
自然環境論	1・2・3・4		2		1				
世界遺産論	1・2・3・4		2		1				
観光文化論	1・2・3・4		2		1				
サイエンス・リテラシー	1・2・3・4		2		1				
ボランティア演習	1・2・3・4		2		1				
健康科学演習A	1・2・3・4		2		1				
健康科学演習B	1・2・3・4		2		1				
生涯スポーツ演習	2・3・4		1		1				
心理学A(社会・臨床心理学)	1・2・3・4		2						
心理学B(発達・青年心理学)	1・2・3・4		2						
健康と運動	1・2・3・4		2		1				
英語I	1・2・3・4		1						
英語II	1・2・3・4		1						
英語III	2・3・4		1						
英語IV	2・3・4		1						
英語V	3・4		1						
英語VI	3・4		1						
仏語I A【前期1・後期2】	1・2・3・4		2						
仏語I B【前期1・後期2】	1・2・3・4		2						
仏語II【前期1・後期2】	2・3・4		2		1				
中国語I【前期1・後期2】	1・2・3・4		2						
中国語II【前期1・後期2】	2・3・4		2						

英語 B 1 (文化)	1・2・3・4	1						隔年開講
英語 B 2 (文化)	1・2・3・4	1						隔年開講
英語 C 1 (文学)	1・2・3・4	1						隔年開講
英語 C 2 (文学)	1・2・3・4	1						隔年開講
独語 A 1 (コミュニケーション)	1・2・3・4	1						
独語 A 2 (コミュニケーション)	1・2・3・4	1						
独語 B 1 (文学)	1・2・3・4	1						隔年開講
独語 B 2 (文学)	1・2・3・4	1						隔年開講
検定英語 A	1・2・3・4	1						
検定英語 B	1・2・3・4	1						
情報基礎論	1・2・3・4	2	1					
情報科学	1・2・3・4	2	1					
情報基礎演習 I A	1・2・3・4	1	1					
情報基礎演習 I A 【デザイン学科のみ】	1・2・3・4	1	1	1				デザイン学科のみ
情報基礎演習 I B	1・2・3・4	1						
情報基礎演習 II	1・2・3・4	1						
情報基礎演習 II 【デザイン学科のみ】	1・2・3・4	1	1	1				デザイン学科のみ
情報応用演習	2・3・4	2	1					
国内美術研修	1・2・3・4	1						2013年度閉講
海外美術研修	1・2・3・4	1	1					※開講見込みのコースのみ人数換算
海外美術実地研究	2・3・4	2						2013年度閉講
華道理論 I	1・2・3・4	2						
華道理論 II	1・2・3・4	2						
華道 I	1・2・3・4	2						
華道 II	1・2・3・4	2						
華道 III	2・3・4	2						
華道 IV	2・3・4	2						
華道 V	3・4	2						
華道 VI	3・4	2						
華道 VII	4	2						2014年度開講のため、担当者未決定
華道 VIII	4	2						2014年度開講のため、担当者未決定
書道 I 【前期1・後期2】	1・2・3・4	2						
書道 II 【前期1・後期2】	2・3・4	2						
コンピュータ基礎実習	1・2・3・4	1						
キャリア・プランニング	2・3・4	2						
インターンシップ研修	2・3・4	2						

専門教育科目 1	日本美術史	1・2・3・4	2	1			
	東洋美術史	1・2・3・4	2	1			
	西洋美術史	1・2・3・4	2	1			
	西洋近代美術史	1・2・3・4	2	1			
	現代美術論	1・2・3・4	2				
	日本建築文化史	1・2・3・4	2				
	西洋建築文化史	1・2・3・4	2	1			
	工芸概論	1・2・3・4	2				
	映像芸術論	1・2・3・4	2				
	映像文化史	1・2・3・4	2				
	技法演習A(絵画・映像メディア表現含)	1・2・3・4	2		1		デザイン学科のみ
	技法演習B(彫刻)	1・2・3・4	2	1			
	技法演習C(デザイン・映像メディア表現含)	1・2・3・4	2	1			造形学科のみ
	技法演習D(工芸)	1・2・3・4	2		1	1	
	絵本論	1・2・3・4	2				
	都の美を観る	1・2・3・4	2				
	デザイン史	1・2・3・4	2				
	マンガ史	1・2・3・4	2				
	デザイン概論	1・2・3・4	2				
	デザイン思考法	1・2・3・4	2	1			
	メディアデザイン概論	1・2・3・4	2	2			
	メディア工学	2・3・4	2				
	感性科学概論	2・3・4	2				
	ユニバーサルデザイン論	1・2・3・4	2				
	観光デザイン概論	1・2・3・4	2	1			
	イベント・デザイン論	1・2・3・4	2	1			
	観光施設デザイン論	2・3・4	2	1			
	シナリオ制作論Ⅰ	1・2・3・4	2				
	シナリオ制作論Ⅱ	1・2・3・4	2				
	芸術心理学	2・3・4	2				
	芸術と思想	1・2・3・4	2				
	芸術思考法演習	3・4	2	1			
	現代社会と芸術	1・2・3・4	2	1			
	エコツーリズム・デザイン論	1・2・3・4	2	1			
アートマネジメント論	1・2・3・4	2					
アートマネジメント演習	2・3・4	2					
知的財産論	2・3・4	2					
保存科学概論	1・2・3・4	2					
児童造形演習	1・2・3・4	2					
美術教育	1・2・3・4	2	1				
京都デザイン論	1・2・3・4	2	1				
京都文化論	1・2・3・4	2					
仏教文化論	1・2・3・4	2					

		芸能文化史	1・2・3・4		2									
		京の美意識	1・2・3・4		2		1							
		京都プロジェクトA【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
		京都プロジェクトB【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
		京都プロジェクトC【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
		京都プロジェクトD【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
		京都プロジェクトE【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
		京都プロジェクトF【前期1・後期2】	2・3・4		2		5							
造形学科 (2011年度以降入学生)	専門教育科目2	東洋・日本美術研究A	2・3・4		2		1							
		東洋・日本美術研究B	2・3・4		2		1							
		東洋・日本美術理論演習	3・4		2		1							
		西洋美術研究A	2・3・4		2		1							
		西洋美術研究B	2・3・4		2									
		西洋美術理論演習	3・4		2		1							
		工芸研究	2・3・4		2									
		工芸理論演習	3・4		2			1						
		先端芸術・メディアアート研究	2・3・4		2		1			1				
		先端芸術理論演習	3・4		2		1			1				
		現代芸術研究A	2・3・4		2									
		現代芸術研究B	2・3・4		2		2							
		現代芸術理論演習	3・4		2		1							
		近代芸術研究	2・3・4		2		1							
		現代作家論A(絵画・版画)	2・3・4		2		5		1					
		現代作家論B(彫刻・工芸)	2・3・4		2		2		1		1			
		現代作家論C(写真・映像・メディアアート)	2・3・4		2		2		1					
		現代美術研究	3・4		2									
		美術史研究	3・4		2									
		日本絵画論特講	3・4		2		1							隔年開講
		東洋絵画論特講	3・4		2		1							隔年開講
		造形基礎実習Ⅰ	1	4				5	3	1				
		作品研究Ⅰ	1	2				1						
		造形基礎実習Ⅱ	1	4				5	3	1				
		作品研究Ⅱ	1	2				1						
		造形基礎実習Ⅲ	2	4				6	1	1				
		作品研究Ⅲ	2	2				4	3					
		造形基礎実習Ⅳ	2	4				6	2	1				
		作品研究Ⅳ	2	2				5	1					
		造形専門実習Ⅰ	3	4				7	2	1				
		作品研究Ⅴ	3	2				5	1	1				
		造形専門実習Ⅱ	3	4				8	2	1				
		作品研究Ⅵ	3	2				6	2					
		造形専門実習Ⅲ	4	4										2014年度開講のため、担当者未決定
作品研究Ⅶ	4	2										2014年度開講のため、担当者未決定		
卒業制作	4	6										2014年度開講のため、担当者未決定		

デザイン学科	専門教育科目2	プロダクトデザイン論	2・3・4		2			1		
		インテリアデザイン論	2・3・4		2		1			
		ビジュアルデザイン論	2・3・4		2			1		
		広告論	2・3・4		2			1		
		商品企画論	2・3・4		2			1		
		色彩計画論	2・3・4		2		1			
		デザイン用語論	2・3・4		2		1			
		メディア技術史	2・3・4		2		1			隔年開講
		アニメーション論	2・3・4		2			1		
		インターフェイス論	2・3・4		2					
		キャラクターデザイン論	2・3・4		2					隔年開講
		ゲームデザイン演習	2・3・4		2					隔年開講
		電子工学基礎論	2・3・4		2					隔年開講
		情報システム概論	2・3・4		2		1			隔年開講
		メディアプロデュース	2・3・4		2					隔年開講
		建築計画論	2・3・4		2					隔年開講
		福祉住環境論	2・3・4		2					隔年開講
		ランドスケープ論	2・3・4		2		1			隔年開講
		観光地域マーケティング論	2・3・4		2		1			
		イベント・プロデュース論	2・3・4		2		1			
		観光産業論	2・3・4		2		1			
		デザイン評価法	2・3・4		2		1			隔年開講
		デザイン論講読Ⅰ	2・3・4		2				1	隔年開講
		デザイン論講読Ⅱ	2・3・4		2		1			隔年開講
		デザイン特演B	3・4		2					
		デザイン基礎実習Ⅰ	1	4		2	1	1		
		デザイン基礎実習Ⅱ	1	4		2	1	1		
		デザイン基礎演習Ⅰ	1	2		3	1			
		デザイン基礎演習Ⅱ	1	2		3	1			
		デザイン基礎実習Ⅲ	2	4		2	4			
		デザイン基礎演習Ⅲ	2	2		1				
		デザイン基礎実習Ⅳ	2	4		2	4			
デザイン基礎演習Ⅳ	2	2		2						
デザイン専門演習Ⅰ	3	6		6	5					
デザイン専門演習Ⅱ	3	6		4	5	1				
卒業制作Ⅰ(卒業研究Ⅰ)	4	6						2014年度開講のため、担当者未決定		
卒業制作Ⅱ(卒業研究Ⅱ)	4	6						2014年度開講のため、担当者未決定		
教養ゼミ	1	2						2011年度よりカリキュラム改定		
造形	人間論	1・2・3・4		2						
	宗教学	1・2・3・4		2		1				
	聖書文化Ⅰ	1・2・3・4		2		1				
	聖書文化Ⅱ	1・2・3・4		2		1				
	文芸論A	1・2・3・4		2		1				
	文芸論B	1・2・3・4		2						
	文化人類学	1・2・3・4		2						
コミュニケーション論ゼミ	1・2・3・4		2							

学科(2010年度以前入学生)・メディアデザイン学科・観光デザイン学科 共通

学部共通科目

運動文化論A	1・2・3・4	2						2013年度まで
運動文化論B	1・2・3・4	2						2013年度まで
コミュニケーション論	1・2・3・4	2						
社会学	1・2・3・4	2						
くらしと経済	1・2・3・4	2						
法学(日本国憲法)	1・2・3・4	2						
生涯学習概論	2・3・4	2	1					
健康科学演習A	1・2・3・4	2	1					
健康科学演習B	1・2・3・4	2	1					
生涯スポーツ演習	2・3・4	1	1					
心理学A(社会・臨床心理学)	1・2・3・4	2						
心理学B(発達・青年心理学)	1・2・3・4	2						
健康と運動	1・2・3・4	2	1					
英語I	1・2・3・4	2						
仏語I	1・2・3・4	2						
中国語I	1・2・3・4	2						
英語II	2・3・4	2						
仏語II	2・3・4	2	1					
中国語II	2・3・4	2						
国際コミュニケーションEII	1・2・3・4	2						2013年度まで
検定英語A	1・2・3・4	1						
検定英語B	1・2・3・4	1						
情報基礎論	1・2・3・4	2	1					
情報科学	1・2・3・4	2	1					
情報基礎演習IA(Mac:画像処理)	1・2・3・4	1	1					
情報基礎演習IB(Win:情報処理)	1・2・3・4	1						
情報基礎演習II	1・2・3・4	1						
情報応用演習	2・3・4	2	1					
身体表現演習	1・2・3・4	2						2013年度まで
技法演習D(工芸)	1・2・3・4	2		1	1			
技法演習A(絵画・映像メディア表現含む)	1・2・3・4	2		1				メディアデザイン学科・観光デザイン学科
技法演習C(デザイン・映像メディア表現含む)	1・2・3・4	2	1					造形学科のみ
仏教文化論	1・2・3・4	2						
京都文化論	1・2・3・4	2						
京の美意識	1・2・3・4	2	1					
芸術学概論	1・2・3・4	2						
保存科学概論	1・2・3・4	2						
芸術と思想	1・2・3・4	2						
芸術心理学	2・3・4	2						
日本美術史	1・2・3・4	2	1					
西洋美術史	1・2・3・4	2	1					
東洋美術史	1・2・3・4	2	1					

		日本建築文化史	1・2・3・4	2						
		西洋建築文化史	1・2・3・4	2	1					
		芸能文化史	1・2・3・4	2						
		デザイン概論	1・2・3・4	2						
		ビジュアルデザイン論	1・2・3・4	2		1				
		色彩計画論	1・2・3・4	2	1					
		デザイン思考法	1・2・3・4	2	1					
		工芸概論	1・2・3・4	2						
		絵本論	1・2・3・4	2						
		都の美を観る	1・2・3・4	2						
		美術教育	1・2・3・4	2	1					
		華道理論Ⅰ	1・2・3・4	2						
		華道理論Ⅱ	1・2・3・4	2						
		華道Ⅰ	1・2・3・4	2						
		華道Ⅱ	1・2・3・4	2						
		華道Ⅲ	2・3・4	2						
		華道Ⅳ	2・3・4	2						
		華道Ⅴ	3・4	2						
		華道Ⅵ	3・4	2						
		華道Ⅶ	4	2						
		華道Ⅷ	4	2						
		書道Ⅰ	1・2・3・4	2						
		書道Ⅱ	2・3・4	2						
		国内美術研修	1・2・3・4	1					2013年度閉講	
		海外美術研修	1・2・3・4	1	1				※開講見込みのコースのみ人数換算	
		海外美術実地研究	2・3・4	2					2013年度閉講	
		総合プロジェクト(インターンシッ	2・3・4	2						
		ボランティア演習	1・2・3・4	2	1					
		キャリア・プランニング	2・3・4	2						
造形学科 (2010年度以前入学生)	学科別 専門科目	現代作家論A(絵画・版画)	2・3・4	2	5	1				
		現代作家論B(彫刻・工芸)	2・3・4	2	2	1	1			
		現代作家論C(写真・映像・メディアア-	2・3・4	2	2	1				
		現代芸術研究A	2・3・4	2						
		現代芸術研究B	2・3・4	2	2					
		造形思潮研究	3・4	2						
		現代美術研究	3・4	2						
		美術史研究	3・4	2						
		芸術の現象学	3・4	2	1					
		空間論研究	3・4	2	1					
		工芸研究	2・3・4	2						
		工芸理論演習	3・4	2		1				
		東洋・日本美術研究A	2・3・4	2	1					
		東洋・日本美術研究B	2・3・4	2	1					
		日本絵画論特講	3・4	2	1					隔年開講
		東洋絵画論特講	3・4	2	1					隔年開講

西洋美術研究A	2・3・4		2		1				
西洋美術研究B	2・3・4		2						
近代芸術研究	2・3・4		2		1				
映像芸術論	2・3・4		2						
映像文化史	2・3・4		2						
先端芸術・メディアアート研究	2・3・4		2		1		1		
アートマネジメント論	1・2・3・4		2						
アートマネジメント演習	2・3・4		2						
知的財産論	3・4		2						
技法演習B(彫刻)	1・2・3・4		2		1				
造形基礎実習I	1	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究I	1	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形基礎実習II	1	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究II	1	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形基礎実習III	2	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究III	2	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形基礎実習IV	2	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究IV	2	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形専門実習I	3	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究V	3	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形専門実習II	3	4							2011年度よりカリキュラム改定
作品研究VI	3	2							2011年度よりカリキュラム改定
造形専門実習III	4	4			6	3	1		
作品研究VII	4	2			7	2	1		
卒業制作	4	6			6	2	1		
メディア技術史	2・3・4		2		1				隔年開講
インターフェイス論	2・3・4		2						
アニメーション論	2・3・4		2			1			
キャラクターデザイン論	2・3・4		2						隔年開講
ゲームデザイン演習	2・3・4		2						隔年開講
現代作家論C(写真・映像・メディアアート)	2・3・4		2		2	1			
先端芸術・メディアアート研究	2・3・4		2		1		1		
メディアプロデュース	2・3・4		2						隔年開講
シナリオ制作論II	2・3・4		2						
映像芸術論	2・3・4		2						
映像文化史	2・3・4		2						
メディア工学	2・3・4		2						
感性科学概論	2・3・4		2						
情報システム概論	2・3・4		2		1				隔年開講
電子工学基礎論	2・3・4		2						隔年開講
サイエンス・リテラシー	2・3・4		2		1				
メディアデザイン概論I	1	2			2				
メディアデザイン概論II	1	2							
メディアデザイン基礎実習I	1	4							2011年度よりカリキュラム改定
メディアデザイン演習I	1	2							2011年度よりカリキュラム改定
メディアデザイン基礎実習II	1	4							2011年度よりカリキュラム改定

メディアデザイン学科
学科別専門科目

		観光デザイン基礎演習Ⅰ	2	2						2011年度よりカリキュラム改定
		デザイン基礎実習Ⅳ	2	4						2011年度よりカリキュラム改定
		観光デザイン基礎演習Ⅱ	2	2						2011年度よりカリキュラム改定
		デザイン特論Ⅰ	2	2						2011年度よりカリキュラム改定
		デザイン特論Ⅱ	2	2						2011年度よりカリキュラム改定
		観光デザイン演習Ⅰ	3	4						2011年度よりカリキュラム改定
		観光デザイン演習Ⅱ	3	4						2011年度よりカリキュラム改定
		観光デザイン演習Ⅲ	4	2			3	2		
		卒業制作	4		6			2		
		卒業研究	4		6		3			
全 学 科 共 通	教 職 に 関 す る 科 目	教職論	1・2・3・4	2			1			
		教育原理	1・2	2						
		教育心理学	1・2	2						
		教育経営学	3・4	2		1				
		教育の課程と方法	2・3・4	2						
		美術科教育法Ⅰ	2	2		1				
		美術科教育法Ⅱ	2	2		1				
		美術科教育法Ⅲ	3	2		1				
		美術科教育法Ⅳ	3	2		1				
		道徳教育論（中一種免必修）	1・2・3・4	2						
		特別活動論	2・3・4	2		1				
		教育方法	2・3・4	2						
		生徒指導論（進路指導を含む）	2	2		1				
		教育相談論（カウンセリングを含む）	3	2						
	教職実践演習（中・高）	4	2		2					
	教育実習Ⅰ	3・4	2		1					
	教育実習Ⅱ	3・4	2		1					
	事前・事後の指導	3・4	1		1					
	省 令 科 目	生涯学習概論	2・3・4	2						
		博物館概論	2・3・4	2		1				
		博物館経営論	3・4	2						
		博物館資料論	2・3・4	2						
		博物館資料保存論	3・4	2		1	1			2013年度閉講
		博物館展示論	2・3・4	2		1				
		博物館情報・メディア論	3・4	2		1				
		博物館教育論	3・4	2						
		博物館実習	3・4	3		1				

- ① 「配当年次」欄には、当該科目を1年次～4年次まで毎年度配当する場合は「1・2・3・4」と記載すること。年次をまたがって授業を行う場合は「〇～〇」（例えば、3年次～4年次の2年間を通して開講する場合は「3～4」）と記載すること。また、隔年開講の場合は、備考欄に「隔年開講」を記載すること。
- ② 「専任教員配置」欄には、授業科目ごとに、当該授業科目を担当する専任教員の数について、1年間の延べ開講数を問わず実人数を記載すること。同一の授業科目について同一の職位の教員が複数担当する場合（同一の授業科目について、複数の教員が分担するオムニバス方式による場合や複数教員が共同で担当する場合等）には、その合計人数を記載すること（兼任教員を含む）。兼任教員のみが担当する授業科目は空欄となる。
- ③ 複数の学科にまたがる科目がある場合は、複数の学科にまたがる科目について記載する欄を作成すること。
- ④ 学則に掲載している科目で近年開講していない科目がある場合も記載し、その旨を備考欄に記載すること。
- ⑤ 導入教育科目やキャリア科目などの全学共通科目については記載する欄を作成すること。
- ⑥ 学部・学科の改組等により、新旧のカリキュラムが併存している場合はすべて記載し、備考欄にはカリキュラムの改訂年度を記載すること。
- ⑦ 完成年度を経していない学部・学科について、開講予定も含んだ全開講科目を記載すること。
- ⑧ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。

表2-6

成績評価基準

学部

点数区分	評価の表示方法(a)	評価の表示方法(b)	合否
100 ~ 80 点		優	合格
79 ~ 70 点		良	
69 ~ 60 点		可	
59 ~ 0 点		不可	不合格
	F	受験不可・未受験	

研究科

点数区分	評価の表示方法(a)	評価の表示方法(b)	合否
100 ~ 80 点		優	合格
79 ~ 70 点		良	
69 ~ 60 点		可	
59 ~ 0 点		不可	不合格
	F	受験不可・未受験	

② 評価の表示方法(a)または(b)が該当しない場合は省略すること。

③ 上に示した表が大学の実態に当てはまらない場合は、大学の実態に合わせた独自の表を作成すること。

表2-7

修得単位状況（前年度実績）

【1年次】

学 部	学 科	平成25年3月1日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
芸術学部	造形学科	59	1	1.7%	6	10.2%	7	11.9%	2	3.4%	18	30.5%	21	35.6%	4	6.8%
	デザイン学科	87	0	0.0%	3	3.4%	8	9.2%	10	11.5%	36	41.4%	27	31.0%	3	3.4%
	メディアデザイン学科	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		147	2	1.4%	9	6.1%	15	10.2%	12	8.2%	54	36.7%	48	32.7%	7	4.8%

【2年次】

学 部	学 科	平成25年3月1日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
芸術学部	造形学科	54	5	9.3%	1	1.9%	5	9.3%	6	11.1%	18	33.3%	16	29.6%	3	5.6%
	デザイン学科	71	0	0.0%	2	2.8%	1	1.4%	5	7.0%	34	47.9%	22	31.0%	7	9.9%
	メディアデザイン学科	7	2	28.6%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%
合計		132	7	5.3%	5	3.8%	7	5.3%	11	8.3%	53	40.2%	39	29.5%	10	7.6%

【3年次】

学 部	学 科	平成25年3月1日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
芸術学部	造形学科	60	4	6.7%	1	1.7%	3	5.0%	11	18.3%	22	36.7%	14	23.3%	5	8.3%
	デザイン学科	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	メディアデザイン学科	49	3	6.1%	0	0.0%	3	6.1%	2	4.1%	25	51.0%	13	26.5%	3	6.1%
	観光デザイン学科	35	3	8.6%	0	0.0%	2	5.7%	8	22.9%	15	42.9%	3	8.6%	4	11.4%
合計		144	10	6.9%	1	0.7%	8	5.6%	21	14.6%	62	43.1%	30	20.8%	12	8.3%

【4年次】

学 部	学 科	平成25年3月1日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
芸術学部	造形学科	73	2	2.7%	8	11.0%	28	38.4%	21	28.8%	10	13.7%	4	5.5%	0	0.0%
	デザイン学科	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	メディアデザイン学科	52	1	1.9%	2	3.8%	25	48.1%	12	23.1%	9	17.3%	2	3.8%	1	1.9%
	観光デザイン学科	26	2	7.7%	1	3.8%	8	30.8%	9	34.6%	3	11.5%	2	7.7%	1	3.8%
合計		151	5	3.3%	11	7.3%	61	40.4%	42	27.8%	22	14.6%	8	5.3%	2	1.3%

- ① 在籍者数は当該年の3月1日の数値とする。
- ② 在籍者数には休学者及び留年者を含み、その内訳を欄外に記載することとする。ただし、退学者を含めない。
- ③ 教職などの卒業要件に関係しない単位についてもカウントすること。
- ④ 改組等により学部・学科の名称等を変更した場合は、新旧の学部・学科名をすべて記載し、その旨を欄外に記載すること。
- ⑤ 累計ではなく、単年度の修得単位数を記載すること。
- ⑥ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。

表2-8

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）

	学部・学科	芸術学部			
	年次	造形学科	デザイン学科	メディアデザイン学科	観光デザイン学科
年間履修登録単位数の上限	1年次	44	44	44	44
	2年次	44	44	44	44
	3年次	44	44	44	44
	4年次	44	44	44	44
進級の要件(単位数)	1年次	12	12	12	12
	2年次	12	12	12	12
	3年次	12	12	12	12
卒業の要件(単位数)		124	124	128	124

- ① 医、歯、薬、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部の場合には、年間履修登録単位数の上限を6年次まで、進級の要件（単位数）を5年次まで作成すること。
- ② 単位数以外の進級要件がある場合には、その旨を欄外に記載すること。
この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。

表2-9

就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数			備考
		週当たり	年間		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
就職支援相談	2	5	220	9:00 ~ 17:30	145	105	169	専任職員
ハローワーク学内就職支援相談	1	1	40	13:00 ~ 18:00	7	64	65	ハローワーク・ジョブサポーター

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② 年間相談件数は延べ数を記載すること。
- ③ スタッフの種類（教員、職員等）を備考欄に記載すること。または、欄外に図表等を示してもよい。

表2-10

就職の状況（過去3年間）

学部	学科	平成22年度					平成23年度					平成24年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
芸術学部	造形学科	64	43	30	69.8	736	54	30	24	80.0	758	63	38	27	71.1	1,016
	観光D学科	24	16	14	87.5		24	15	14	93.3		22	22	11	50.0	
	メディアD学科	53	36	18	50.0		48	33	20	60.6		45	25	18	68.0	
芸術学部計		141	95	62	65.3	736	126	78	58	74.4	758	130	85	56	65.9	1,016
合 計		141	95	62	65.3	736	126	78	58	74.4	758	130	85	56	65.9	1,016

- ① 就職率は就職希望者に対し、実際に就職した就職者の割合を記載すること。
- ② 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。

表2-11

卒業後の進路先の状況（前年度実績）

		芸術学部		学部		学部		学部		学部	
		人数(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
就職	農業、林業										
	漁業										
	鉱業、採石業、 砂利採取業										
	建設業	1	0.8								
	製造業	14	10.7								
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	1	0.8								
	情報通信業										
	運輸業、郵便業	1	0.8								
	卸売・小売業	14	10.7								
	金融・保険業										
	不動産業、 物品賃貸業										
	学術研究、専門・技術サー ビス業	15	11.5								
	宿泊業、 飲食サービス業										
	医療、福祉	1	0.8								
	複合サービス事業										
その他サービス業	6	4.6									
公務											
上記以外	1	0.8									
就職者合計		56	43.1								
進学	自大学院	4	3.1								
	他大学院										
	専門学校	2	1.5								
進学者合計		6	4.6								
その他	無業者・未定者	68	52.3								
卒業者合計		130	100.0%								

- ① 「人数」欄は、学部ごとの進路先への人数を記載すること。
- ② 各学部の卒業者合計に対する各進路先の人数をパーセンテージで算出し、記載すること。
- ③ 就職の項目にある「上記以外」の例：NGO団体、国際機関など。
- ④ 進学の欄に自大学院・他大学院以外に主な進学先（他大学の学部、専門学校など）があれば、新たに欄を設け、記載すること。
- ⑤ 就職しつつ進学した場合は、先に決定したほうに記載すること。
- ⑥ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科に読替えて記載すること。

表2-12

学生相談室、医務室等の利用状況

名称	スタッフ数		開室日数		開室時間	年間相談件数			備考
	専任	非常勤	週当たり	年間		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
保健室		1	5	234	9:00~17:00	921	863	1090	保健師資格及び看護師資格を持った職員
学生相談室	1	2	5	255	13:00~17:00	未集計	501	606	専任(心理学担当教員、臨床心理士)、非常勤(資格を持ったカウンセラー、臨床心理士)

- ① 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ② 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、各々の学部、キャンパスごとに記載すること。
- ③ 年間相談件数は延べ数を記載すること。

表2-13

大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (a)	在籍学生総数 (b)	在籍学生数に対する比率 $a/b*100$	月額支給総額 (c)	1件あたりの月額支給額 c/a	備考 (授業料免除制度がある場合は、その基準を記載すること。)
京都嵯峨芸術大学奨学金	学内	給付	21	589	3.6	8,070,000円	384,286円	対象は大学院を含む。本学の奨学金給付規程に基づく。
外国人留学生授業料減免	学内	給付	1	2	50	330,000円	330,000円	本学の外国人留学生授業料減免規程に基づく。

- ① 前年度実績をもとに記載すること。
- ② 在籍学生数は前年度全体の学生数で、卒業生を含んだ人数（3月1日現在）を記載すること。
- ③ 奨学金の名称の欄は、種類別等のタイトルごとにまとめて記載すること。
- ⑤ 留学生や特別な支援が必要な学生に対する奨学金、授業料免除等がある場合は、記載すること。
- ⑥ 授業料免除制度がある場合は、その基準を備考に記載すること。
- ⑦ 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象など、大きな区分で記載すること。
- ⑧ 年次支給の場合も、月額支給額を算出して記載すること。
- ⑨ 一つの奨学金等に複数の種類や実施方法がある場合、種類や方法別にすべて記載すること。

表2-14

学生の課外活動への支援状況（前年度実績）

	活動資金支援			その他	
	件数	金額	1件あたりの金額	件数	支援の方法を具体的に記載
大学祭開催に対する活動	1	268,000円	268,000円		大学祭開催の全てに関する支援
新入生交流会に対する活動	1	67,000円	67,000円		新入生交流会開催の全てに関する支援
大学寮生交流会に対する活動	1	31,054円	31,054円		大覚寺寮生交流会開催の全てに関する支援
リーダースキャンプ開催に対する活動	1	26,814円	26,814円		リーダースキャンプにおける食事代及び交通費に関する支援

表2-15

専任教員の学部、研究科ごとの年齢別の構成

【学部】

学部	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
芸術学部	教授 (人)	0	2	9	5	3	3	0	0	0	0	22
	(%)	0.0%	9.1%	40.9%	22.7%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
助教 (人)												
計 (人)		0	2	9	5	7	5	3	1	0	0	32
計 (%)		0.0%	6.3%	28.1%	15.6%	21.9%	15.6%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%

【大学院研究科】

研究科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
芸術研究科	教授 (人)	0	2	9	5	3	3	0	0	0	0	22
	(%)	0.0%	9.1%	40.9%	22.7%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
助教 (人)												
計 (人)		0	2	9	5	7	5	2	1	0	0	31
計 (%)		0.0%	6.5%	29.0%	16.1%	22.6%	16.1%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%

【全学部・全研究科】

学部・研究科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
全学部・全研究科	教授 (人)	0	2	9	5	3	3	0	0	0	0	22
	(%)	0.0%	9.1%	40.9%	22.7%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
助教 (人)												
計 (人)		0	2	9	5	7	5	3	1	0	0	32
計 (%)		0.0%	6.3%	28.1%	15.6%	21.9%	15.6%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%

定年	65歳
----	-----

- ① 専任教員について、学部・研究科ごとに作成すること。
ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学で行っている場合は、その教員数を学部から除き、【教養教育担当者】の表を作成すること。
- ② 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記載すること。

表2-16

学部の専任教員の1週当たりの担当授業時間数（最高、最低、平均授業時間数）

芸術学部（32人）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	24.5	23	21.6		1授業時間80分
最低	5	18	17		
平均	15.94	20.98	19.3		
責任授業時間数					教授、准教授、講師ともに責任時間は半期あたり講義系教員10時間(部長職:6時間)、実習系教員16時間(部長職:12時間)、学長は2時間

※授業担当数5時間の教授は、学長であるため担当時間数が少ない。

- ① 専任教員について、所属組織ごとに作成すること。
- ② 学部に所属する専任教員が当該大学において担当する1週間の最高・最低・総平均授業時間を記載すること。
- ③ 「備考」欄に記載した1授業時間が何分であることを記載すること。
- ④ 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても含めること。
- ⑤ 休職・留学している専任教員についても記載し、欄外にその旨記載すること。
- ⑥ 備考欄の1授業時間を1として、担当授業時間数を算出すること。
- ⑦ 卒業研究及び臨床実習前後の指導を含むこと。
- ⑧ 大学院を担当している場合、大学院の担当時間を含めて算出すること。
- ⑨ 大学院大学の場合は、学部を研究科に読替えて記載すること。

表2-17

学部、学科の開設授業科目における専兼比率
前期

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
芸術学部	造形学科(2011年度以降入学生) デザイン学科 共通	一般教育科目	専任担当科目数(a)	1	11.5	12.5	
			兼任担当科目数(b)	0	29.5	29.5	
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	100	28.05	29.76	
		専門教育科目1	専任担当科目数(a)	0	17.16	17.16	
			兼任担当科目数(b)	0	12.84	12.84	
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	57.2	57.2	
		造形学科(2011年度以降入学生)	専門教育科目2	専任担当科目数(a)	4.27	5	9.27
				兼任担当科目数(b)	2.73	3	5.73
				専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	61	62.5	61.8
	デザイン学科	専門教育科目2	専任担当科目数(a)	2.68	7	9.68	
			兼任担当科目数(b)	2.32	2	4.32	
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	53.6	77.78	69.14	
	造形学科(2010年度以前入学生) メディアデザイン学科 観光デザイン学科 共通	学部共通科目	専任担当科目数(a)	0	16.5	16.5	
	造形学科(2010年度 以前入学生)	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	1.07	8	9.07	
			兼任担当科目数(b)	0.93	5	5.93	
専兼比率 ($a/(a+b)*100$)			53.5	61.54	60.47		

メディアデザイン学科	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	1.92	3	4.92
		兼任担当科目数(b)	2.08	3	5.08
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	48	50	49.2
観光デザイン学科	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	1	7	8
		兼任担当科目数(b)	0	2	2
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	100	77.78	80
全学科共通	教職に関する科目	専任担当科目数(a)	0	6	6
		兼任担当科目数(b)	0	2	2
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	75	75
	省令科目	専任担当科目数(a)	0	8	8
		兼任担当科目数(b)	0	4	4
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	66.67	66.67

後期

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
造形学科(2011年度以降入学生) デザイン学科 共通	一般教育科目	専任担当科目数(a)	1	11	12
		兼任担当科目数(b)	0	29	29
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	100	27.5	29.27
	専門教育科目1	専任担当科目数(a)	0	15.16	15.16
		兼任担当科目数(b)	0	13.84	13.84
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	52.28	52.28
造形学科(2011年度以降入学生)	専門教育科目2	専任担当科目数(a)	3.33	8.8	12.13
		兼任担当科目数(b)	2.67	2.2	4.87
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	55.5	80	71.35

芸術学部	デザイン学科	専門教育科目 2	専任担当科目数(a)	2.9	8	10.9
			兼任担当科目数(b)	2.1	0	2.1
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	58	100	83.85
	造形学科(2010年度以前入学生) メディアデザイン学科 観光デザイン学科 共通	学部共通科目	専任担当科目数(a)	0	16	16
			兼任担当科目数(b)	0	32	32
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	33.33	33.33
	造形学科(2010年度以前入学生)	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	0.29	6.8	7.09
			兼任担当科目数(b)	0.71	5.2	5.91
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	29	56.67	54.54
	メディアデザイン学科	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	0.67	2	2.67
			兼任担当科目数(b)	0.33	3	3.33
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	67	40	44.5
	観光デザイン学科	学科別専門科目	専任担当科目数(a)	0	11	11
			兼任担当科目数(b)	0	0	0
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	100	100
	全学科共通	教職に関する科目	専任担当科目数(a)	0	1.5	1.5
			兼任担当科目数(b)	0	2.5	2.5
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	37.5	37.5
省令科目		専任担当科目数(a)	0	2	2	
		兼任担当科目数(b)	0	2	2	
		専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	0	50	50	

※隔年開講で2013年度に閉講の科目は、計算に含めていない。

- ① 学部のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学部、学科も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学部、学科等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合は、同一教員による実施は専任教員が担当する場合、専任担当科目数は1、兼任教員が担当する場合は兼任教員科目数が1となる。
複数教員による実施は専任教員が担当する場合、専任担当科目数は1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当する場合は、専任科目数0.5、兼任担当科目数0.5となる。（例：一科目で4クラスに分かれ、兼任が2クラス、専任が2クラス担当する場合、専任0.5、兼任0.5）
- ⑧ 実験、実習等においては兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。（例：専任4人、兼任1人で担当の場合、専任0.8、兼任0.2）
- ⑨ 1年間でリレー形式等で期間も関わってくる場合は、期間に関わる部分も案分すること。（例：一科目で1クラスでリレー形式（専任1人、兼任3人で担当している）の場合、専任0.25、兼任0.75）
- ⑩ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。
- ⑪ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。

表2-18

校地、校舎等の面積

大学収容定員数（学部合計）	778人
---------------	------

	区分	専用(㎡)	共用(㎡)	共用する他の学校等の専用(㎡)	計(㎡)	収容定員1人当たりの面積(㎡)	設置基準上必要な面積(㎡)	備考（共用の状況等）
	校地等	校舎敷地	0.00	17,294.18	0.00	17,294.18	46.31	7,780
運動場用地		0.00	31,681.09	0.00	31,681.09	〃		
小計		0.00	48,975.27	0.00	48,975.27	〃		
その他		0.00	951.60	0.00	951.60	〃		
合計		0.00	49,926.87	0.00	49,926.87	〃		
校舎		専用(㎡)	共用(㎡)	共用する他の学校等の専用(㎡)	計(㎡)	設置基準上必要な面積(㎡)		備考（共用の状況等）
		0	28,475.52	0	28,475.52	7760.3		京都嵯峨芸術大学短期大学部(300人)

- ① 校地等面積については、寄宿舍その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項及び短大設置基準第32条を参照）用地の面積を除いた面積を記載すること。
- ② 校地等の収容定員1人当たりの面積は、〔専用合計＋共用合計÷(大学収容定員＋共用する他の学校の収容定員)×大学収容定員〕÷大学収容定員で算出し、記載すること。
- ⑤ 校地等及び校舎の「共用する他の学校等の専用」欄には、大学が校地等及び校舎を共用する他の学校等が専用で使用する校地等及び校舎の面積を記載すること。
- ⑥ 大学院大学の場合は、「大学収容定員数（学部合計）」を「大学収容定員数（研究科合計）」に変更して記載すること。

表2-19

教員研究室の概要

学部・研究科	室数			総面積(m ²) (a)	1室当たりの平均面積(m ²)		専任教員数 (教授・准教授・ 講師・助教) (b)	教員1人当たりの 平均面積(m ²)(a/b)
	個室	共同	計		個室	共同		
芸術学部	25	10	35	1366.18	21.7	82.38	32	40.56
芸術研究科	0	0	0	0	0	0	0	0
計								

- ① 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有するすべての教員研究室を記載すること。
- ② 「1室当たりの平均面積」はすべての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について記載すること。
- ③ 専任教員数には助手を含めないこと。
- ④ 附属の研究所等がある場合は、新たに欄を設け、記載すること。
- ⑤ 退職などによる空き部屋についても記載し、「(a/b)」を算出する際には総面積からは除いて算出すること。

表2-20

講義室、演習室、学生自習室等の概要

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	面積の合計 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	備考 (研究科・短大等との 共用等の状況)
全学 共通	講義室	7	906.53	共用		芸術研究科、京都嵯峨芸術大学短期大学部と共用
	演習室	7	800.59	共用		芸術研究科、京都嵯峨芸術大学短期大学部と共用
	情報処理演習室	3	306.56	共用		芸術研究科、京都嵯峨芸術大学短期大学部と共用
	ゼミ室	4	193.76	共用		芸術研究科、京都嵯峨芸術大学短期大学部と共用
芸術 学部	実験・実習室	59	7229.96	専用		
		4	265.15	共用		京都嵯峨芸術大学短期大学部と共用
芸術 研究科	演習室	3	206	専用	16	

- ① 学部、大学院研究科ごとに記載すること。
- ② 当該施設を全学または複数の学部、研究科、短期大学等が共用している場合は、「学部・研究科等」欄に記入欄を設けて記載その旨を記載すること。
- ⑤ 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載すること。

表2-21

附属施設の概要（図書館除く）

該当なし

名称	面積の合計 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員（総数） 該当箇所のみ記載	開館時間等 (該当する場合 のみ記載)	スタッフ数 該当する場合のみ記 載		主な用途
					専任	非常勤	
				： ～ ：			

① 大学設置基準第39条に基づき、学部・学科の教育研究に必要な施設を記入すること。

表2-22

その他の施設の概要

名称	面積の合計 (㎡)	収容人員 (総数)	開館時間等 該当する場合 のみ記載	利用者数(総数) 該当する場合のみ記載 (平成24年度)		スタッフ数 該当する場合のみ記載		備考
				学内	学外	常勤	非常勤	
体育館・講堂	705		: ~ :					
アートスペース嵯峨	216.5		10:00-17:00			1(兼任)		
附属博物館	416.5		10:00-17:00			1(兼任)		

- ① 体育館、講堂、運動場、スポーツ施設等を有しており、学部やキャンパス等ごとに分かれている場合は、学部やキャンパス等ごとに分けて記載すること。
- ② スポーツ施設を有する場合は、種別ごとに記載すること。
- ③ 利用者数について、同じ法人の短大等も利用している場合、学内の欄に短大等の利用者数も含め記入し、内訳を明示すること。
- ④ 授業利用・課外授業(部活)を含んで記載すること。
- ⑤ その他の施設とは、大学設置基準第39条において定義されている附属施設以外をいう。

表2-23

図書、資料の所蔵数

図書館の名称	図書の冊数(冊)		定期刊行物の種類		視聴覚資料の 所蔵数(点数)	電子ジャーナルの種類	データベース の契約数	備 考
	図書の冊数	開架図書の冊数 (内数)	内国書	外国書				
附属図書館	118,275	106,151	868	57	1,102	0	0	
計	118,275	106,151	868	57	1,102	0	0	

- ① 学部、キャンパスごとに図書館を有する場合は、すべて記載すること。
- ② 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めること。
- ③ 検索データベース等を契約している場合はデータベースの契約数欄にその契約数を記載すること。
- ④ 電子ジャーナル、データベースが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記載し備考欄にその旨を記載すること。
- ⑤ 視聴覚資料及び定期刊行物等については、タイトル数を記入すること。
- ⑥ 雑誌等の定期刊行物について、製本済みのものは図書の冊数に加えること。

表2-24

学生閲覧室等

図書館の名称	面積(m ²)			学生 閲覧室 の座席数 (a)	全学部 の 収容定員 (b)	収容定員に 対する 座席数の 割合(%) a/b*100	その他の 学習室の 座席数 ()	開室日数		年間利用実績(平成24年度)		開室時間	スタッフ数 該当する場合のみ記載	
	全体	閲覧 スペース (内数)	書庫 スペース (内数)					週当たり	年間	学内	学外		専任	非常勤
附属図書館	1,354m ²	1101m ²	106m ²	195	794	24.6%	24	5.1	241	14,808	1,147	9:00～17:45	2	3
合 計	1,354m ²	1101m ²	106m ²	195	794	24.6%	24	5.1	241	14,808	1,147		2	3

- ① 学部、キャンパスごとに図書館を有する場合は、すべて記載すること。
- ② 「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内にその学習室の具体名称等を記載すること。
- ③ 週あたりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。
- ④ 開室時間については学期中の平日における開室時間を記載すること。
- ⑤ 年間利用実績の「学内」欄には、学生・教員・職員の延べ利用人数を記載すること。「学外」欄には、それ以外の利用者の延べ利用人数を記載すること。
- ⑥ 大学院大学の場合は、「全学部の収容定員(b)」を「全研究科の収容定員(b)」に変更して記載すること。

表2-25

情報センター等の状況

情報センター等の名称	座席数	コンピュータ台数	ソフトウェアの種類の数	年間総利用時間数（平成24年度）		開館時間等	開館日数		スタッフ数 該当する場合のみ記載	
				授業利用時間数	授業外利用時間数		年間	週当たり	専任	非常勤
情報処理演習室Ⅰ	25	25	5	676	505	9:00 ~ 18:00	227	6	2	3
情報処理演習室Ⅱ	25	25	7	690	0	9:00 ~ 17:10	180	5	2	3
情報処理演習室Ⅲ	26	26	6	705	0	12:50 ~ 17:10	180	5	2	3
第5演習室	25	50	11	540	576	9:00 ~ 18:00	229	6	2	3
情報フロア	15	15	0	0	2126	9:00 ~ 17:30	276	6	2	2
				※注意： 上記「授業利用時間数」は、授業1コマあたり2時間（80分）とし、40分=1時間単位にて算出している	※注意： 上記「授業外利用時間数」は、実時間とし、60分=1時間単位にて算出している					

- ① 学部、キャンパスごとに有する場合は、すべて記載すること。
- ② コンピュータ台数については学生が利用可能な状態にある情報教育用のコンピュータの台数について記載すること。サーバ用途のコンピュータや倉庫に保管されているなどの遊休状態のものは含めない。
- ③ ソフトウェアの種類数については学生が利用可能な情報教育用のソフトウェアの種類の数。当該組織がライセンス購入した教育用の商用ソフトウェアに限定し、OS、フリーソフト、独自に開発したソフトウェアは除くこと。
- ④ 開館時間が時期によって異なる場合には、通常の開館時間を記載し、その旨を欄外に記載する。

表2-26

学生寮等の状況

名称	所在地	個室・共同の別	1棟当たりの室数		入寮定員数	実際に入寮している学生数	スタッフ数	
			個室	共同			専任	非常勤
京都嵯峨芸術大学大覚寺寮	京都市右京区嵯峨大沢町4 大覚寺境内	個室	10		10	10		1

① 複数棟にわたって有する場合はすべて記載すること。

表3-1

職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）

	正職員	嘱託	パート (アルバイト も含む)	派遣	合計
人数	20	6	26	1	53
%	37.7%	11.3%	49.1%	1.9%	100.0%

	正職員							嘱託				パート(アルバイトも含む)				派遣				計
	男	うち 管理職	女	うち 管理職	男女 正職員 合計	管理職 合計	正職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)	男	女	男女嘱託 職員合計	嘱託職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)	男	女	男女パート職 員合計	パート職員合 計 に対する 年齢別の割 合	男	女	男女派遣 職員合計	派遣職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)	
20歳代	1	0	0	0	1	0	5.0%	0	2	2	33.3%	4	16	20	76.9%	0	0	0	0.0%	
30歳代	2	0	2	0	4	0	20.0%	0	4	4	66.7%	2	1	3	11.5%	0	0	0	0.0%	
40歳代	2	2	2	0	4	2	20.0%	0	0	0	0.0%	0	3	3	11.5%	0	0	0	0.0%	
50歳代	9	5	2	1	11	6	55.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	1	1	100.0%	
60歳代	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	
合計	14	7	6	1	20	8	100.0%	0	6	6	100.0%	6	20	26	100.0%	0	1	1	100.0%	

定年	60歳
役職定年	60歳
選択定年	無

「管理職の定義欄」（記述） ・課長以上

- ① 役職定年及び選択定年がある場合は記載すること。
- ② 管理職の定義を「管理職の定義欄」に記載すること。
- ③ パートの欄には臨時職員等も含めて記載し、欄外にその旨を記載すること。
- ④ 派遣には紹介予定派遣者を含めて記載すること。
- ⑤ 附属施設の医療系の職員は、別表を作成すること。ただし、大学職員としてカウントしている場合は、含めて記載すること。
- ⑥ 法人本部を設置している場合、法人本部の職員として発令されている者であっても大学等の業務を行っている場合は、その職員数を含めて算出し、欄外にその旨を記載すること。

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（学校教育法）

関連規定等	学校教育法	遵守状況	備考
大学の入学資格、修業年限、組織編成等に関する規定	○第83条(大学の目的)	○	
	○第85条(教育研究上の基本組織(学部))	○	
	○第87～89条(修業年限、その特例)	○	
	○第90条(入学資格)	○	
	○第92条(学長、教授等必要な職員)	○	
	○第93条(教授会の設置)	○	
	○第104条(学位の授与)	○	
	○第108条、第122条、第132条(編入学)	○	
大学が備えるべき教員組織、施設設備等の人的・物的要素の最低基準を定める規定	○第92条(学長、教授等必要な職員) [再掲]	○	
	○第114条(事務職員)	○	
教育活動及びこれに関連する活動の規範を定める規定	○第109条(自己点検・評価)	○	
	○第113条(教育研究活動の公表)	○	
学生の履修及び卒業要件に関する規定	○第87～89条(修業年限、その特例) [再掲]	○	
	○第104条(学位の授与)[再掲]	○	

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（学校教育法施行規則）

関連規定等	学校教育法施行規則	遵守状況	備考
大学の入学資格、修業年限、組織編成等に関する規定	○第143条(教授会の権限)	○	
	○第146～149条(修業年限及びその特例に関する細目)	○	
	○第150～154条(入学資格に関する細目)	○	
	○第161条、第162条、第178条、第186条(編入学、転学等)	○	
大学が備えるべき教員組織、施設設備等の人的・物的要素の最低基準を定める規定	—	—	—
教育活動及びこれに関連する活動の規範を定める規定	○第4条(学則記載事項)	○	学則第10条(学則第10条)として福利厚生施設の設置を明文化しており、条文を追加せず、別途寮に関する規則を定めています
	○第24条(指導要録)	○	
	○第28条(備えるべき表簿)	○	日課表、学校歯科医執務記録簿、学校薬剤師執務記録簿については、大学のため無し
	○第163条(学年の始期、終期)	○	
	○第166条(自己点検・評価に関する細目)	○	
	○第172条の2(教育研究活動等の情報の公表)	○	
学生の履修及び卒業要件に関する規定	○第144条(入学、退学、転学、留学、休学、卒業の決定)	○	
	○第164条(履修証明書の交付に関する細目)	○	
	○第173条(卒業証書授与)	○	

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（大学設置基準）

関連規定等	大学設置基準	遵守状況	備考
大学の入学資格、修業年限、組織編成等に関する規定	○第2条の2(入学者選抜)	○	
	○第3～6条(教育研究上の基本組織(学部、学科、学部以外の基本組織))	○	
	○第18条(収容定員)	○	
	○第40条の4(大学等の名称)	○	
大学が備えるべき教員組織、施設設備等の人的・物的要素の最低基準を定める規定	○第7条(教員組織の編成)	○	
	○第10条(授業科目の担当)	○	
	○第12～13条(専任教員)	○	
	○第13条の2～17条(学長、教授、准教授、講師、助教、助手の資格)	○	
	○第34条(校地)	○	
	○第35条(運動場)	○	
	○第36条(校舎等施設)	○	
	○第37条(校地の面積)、第37条の2(校舎の面積)	○	
	○第38条(図書等の資料及び図書館)	○	
	○第39条(附属施設)、第39条の2(薬学実務実習に必要な施設)	-	該当なし
	○第40条(機械、器具等)	○	
	○第40条の2(二以上の校地における施設整備)	○	
	○第40の3(教育研究環境の整備)	○	
	○第41条(事務組織)	○	
○第42条(厚生補導の組織)	○		
○第53条(段階的整備)	○		

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（大学設置基準）

関連規定等	大学設置基準	遵守状況	備考
教育活動及びこれに関連する活動の規範を定める規定	○第2条(教育研究上の目的)	○	
	○第2条の2(入学者選抜の方法)	○	
	○第19～21条(教育課程、単位の計算方法)	○	
	○第22～23条(授業期間)	○	
	○第24～25条(授業を行う学生数、授業の方法)	○	
	○第25条の2(成績評価基準等の明示等)	○	
	○第25条の3(教育内容等の改善のための組織的な研修等)	○	
	○第27条(単位の授与)	○	
	○第42条の2(社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制)	○	
学生の履修及び卒業要件に関する規定	○第27条（単位の授与）[再掲]	○	
	○第27条の2(履修科目の登録の上限)	○	
	○第28条(他の大学・短大の授業科目の履修等)	○	
	○第29条(大学以外の教育施設等での学修)	○	
	○第30条(入学前の既修得単位等の認定)	○	
	○第30条の2(長期にわたる教育課程の履修)	-	該当無し
	○第31条(科目等履修生等)	○	
	○第32条(卒業の要件)	○	

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（学位規則）

関連規定等	学位規則	遵守状況	備考
大学の入学資格、修業年限、組織編成等に関する規定	○第2条(学位授与の要件)	○	
大学が備えるべき教員組織、施設設備等の人的・物的要素の最低基準を定める規定	—	—	—
教育活動及びこれに関連する活動の規範を定める規定	—	—	—
学生の履修及び卒業要件に関する規定	○第2条(学位授与の要件)[再掲]	○	
	○第10条(専攻分野の名称)	○	
	○第13条(学位規程の制定・報告)	○	

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（告示）

関連規定等	告示	遵守状況	備考
大学の入学資格、修業年限、組織編成等に関する規定	○大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件【学校教育法施行規則】等	○	
大学が備えるべき教員組織、施設設備等の人的・物的要素の最低基準を定める規定	○大学新設等の場合における教員組織、校舎等の施設及び設備の段階的整備について定める件【大学設置基準】	○	
	○薬学部における実務家教員の要件等【大学設置基準】等	-	該当無し
教育活動及びこれに関連する活動の規範を定める規定	○高度メディア授業について定める件【大学設置基準】	○	
	○大学が授業の一部を校舎及び附属施設以外の場所で行う場合について定める件【大学設置基準】等	○	
学生の履修及び卒業要件に関する規定	○大学が単位を与えることのできる学修を定める件【大学設置基準】等	○	

*次ページあり

表3-2

大学の運営及び質保証に関する法令等の遵守状況（私立学校法）（私立大学の場合のみ）

関連規定等	私立学校法	遵守状況	備考
学校法人の運営に関する規定等	○第35条（役員）	○	
	○第36条（理事会）	○	
	○第37条（役員の職務）	○	
	○第38条（役員の選任）	○	
	○第39条（役員の兼職禁止）	○	
	○第40条（役員の補充）	○	
	○第40条の4（利益相反行為）	○	
	○第41条～43条（評議員会）	○	
	○第44条（評議員の選任）	○	
	○第45条（寄附行為変更の認可等）	○	
	○第46条（評議員会に対する決算等の報告）	○	
	○第47条（財産目録等の備付け及び閲覧）	○	
○第48条（会計年度）	○		

- ① 「関連規定等」の内容を踏まえ、学校教育法をはじめ、各種法令と大学の諸規定と照合し、遵守の状況を「○」「×」で記載すること。
- ② 遵守の状況が「×」の場合及び状況説明等が必要な場合は、「備考」欄にその理由等を記載すること。

表3-3

教育研究活動等の情報の公表状況について

公表の項目	公表の内容	公表の方法
大学の教育研究上の目的に関すること	大覚寺学園 教育憲章 京都嵯峨芸術大学芸術学部 教育目標 京都嵯峨芸術大学大学院 教育目標	大学WebSite等で公開
教育研究上の基本組織に関すること	教員組織	大学WebSite等で公開
教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	教員紹介	大学WebSite等で公開
入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	京都嵯峨芸術大学芸術学部アドミッションポリシー 就職・進学 在学者数・収容定員	大学WebSite等で公開
授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること	2013年度学年暦 シラバス	大学WebSite等で公開
学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	学位授与の方針 京都嵯峨芸術大学 履修規程	大学WebSite等で公開
校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	キャンパスマップ	大学WebSite等で公開
授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること	学費	大学WebSite等で公開
大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	経済的支援・奨学金制度 進路・就職支援体制 キャリア支援センター相談窓口 学生相談・健康管理	大学WebSite等で公開

- ① 「公表の内容」の欄には詳細な公表内容の名称等を列記して記載すること。
- ② 「公表の内容」の欄に列記されている内容に対応して、「公表の方法」の欄には詳細な公表方法等を記載すること。
- ③ 「公表の項目」の全部又は一部該当しない場合、「公表の内容」の欄及び「公表の方法」の欄に「公表なし」と記載すること。

表3-4

財務情報の公表状況（前年度実績）

【閲覧の方法】

閲覧の方法 (自由筆記)	財務情報については、「私立学校法の一部を改正する法律等の施行に伴う財務情報の公開等について」(平成16年7月23日付け文部科学省高等教育局私学部長通知)と日本私立大学団体連合会から示されたガイドライン「大学法人の財務・経営情報の公開について(中間報告)」(平成22年7月20日)に基づき、情報公開規程を制定し、大学ホームページに資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、監査報告書、財産目録の概要、事業計画書、事業報告書を公開している。 また、毎年6月発行の学園広報誌に当年度の予算と併せて、前年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表と決算の概要説明を掲載しており、在学生、保護者、教職員その他に配布している。 書類閲覧規程に基づき、請求があった場合は審査のうえ、計算書類、監査報告、財産目録、事業報告書を閲覧に供している。
-----------------	---

【その他開示方法】

自己点検・評価報告書			学内広報誌			大学機関紙			財務状況に関する報告書			学内LAN			ホームページ(ウェブサイト等)			その他(一般向けの経済紙等)			開示請求があれば対応する		
資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借	資金	消費	貸借
			○	○	○	○			○	○	○				○	○	○				○	○	○

- ① 財務情報の閲覧の方法を自由筆記すること。
- ② 【その他の開示方法】について、あてはまる部分に○印を記載すること。
- ③ 受審前々年度決算の資金収支計算書（資金）・消費収支計算書（消費）・貸借対照表（貸借）について、受審前年度に公表したものをすべて記載すること。

表3-5

消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）（過去5年間）

	比 率		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	61.6%	58.7%	53.6%	62.7%	60.5%	
2	人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	76.5%	71.7%	76.8%	77.7%	84.3%	
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.9%	26.0%	31.9%	29.7%	25.4%	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.1%	8.2%	8.1%	10.1%	7.8%	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	
6	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	97.7%	94.6%	96.1%	104.0%	94.5%	
7	消費収支比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	101.6%	97.3%	125.9%	108.3%	98.0%	
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.5%	0.7%	0.7%	2.7%	7.0%	
10	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.0%	10.6%	22.8%	11.0%	7.8%	
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰 属 収 入}}$	3.9%	2.8%	23.7%	4.0%	3.6%	
12	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消 費 支 出}}$	10.8%	11.2%	10.3%	13.1%	12.6%	

- ① 「学校法人会計基準」に基づく消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記載すること。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、消費収支計算書（法人全体のもの）のみを作表し、表3-3「消費収支計算書（大学単独）」には記載しないこと。ただし、医・歯学部などで附属病院を併設している場合には、表3-3も作成すること。

表3-6

消費収支計算書関係比率（大学単独）（過去5年間）

	比 率		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	59.8%	54.4%	52.4%	60.5%	60.3%	
2	人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	74.2%	67.2%	73.6%	73.5%	75.5%	
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.2%	25.5%	32.2%	30.1%	27.4%	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.4%	7.1%	7.2%	9.0%	7.7%	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	
6	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	94.0%	88.1%	93.8%	101.0%	96.0%	
7	消費収支比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	95.9%	91.0%	126.4%	106.9%	97.9%	
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.5%	0.7%	0.2%	0.2%	6.8%	
10	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.9%	9.9%	21.4%	10.6%	7.1%	
11	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.9%	3.1%	25.8%	5.5%	2.0%	
12	減価償却費比率	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{消 費 支 出}}$	11.0%	12.2%	11.0%	13.8%	13.3%	

- ① 「学校法人会計基準」に基づく消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記載すること。
 ② 大学単独のものを記載すること（医、歯系学部を有する大学の場合、附属病院なども除外すること）。

表3-7

貸借対照表関係比率（法人全体のもの）（過去5年間）

	比 率		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	79.0%	78.1%	84.4%	83.7%	84.4%	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	21.0%	21.9%	15.6%	16.3%	15.6%	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	11.6%	11.1%	10.6%	9.8%	9.1%	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	7.5%	6.8%	5.5%	5.7%	5.2%	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	80.9%	82.2%	83.9%	84.5%	85.8%	
6	消費収支差額 構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	Δ29.3%	Δ28.9%	Δ33.4%	Δ35.3%	Δ35.0%	
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	97.6%	95.0%	100.5%	99.1%	98.4%	
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	279.1%	324.2%	284.8%	284.2%	303.1%	
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	19.1%	17.8%	16.1%	15.5%	14.2%	
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	23.6%	21.7%	19.1%	18.4%	16.6%	
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	313.3%	381.9%	282.6%	349.7%	348.9%	
13	退職給与引当 預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金（資産）}}{\text{退職給与引当金}}$	24.5%	24.9%	25.4%	27.1%	28.5%	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.7%	96.0%	96.5%	97.0%	97.4%	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額（図書を除く）}}{\text{減価償却資産取得価格（図書を除く）}}$	57.6%	60.1%	51.2%	54.0%	55.5%	

① 「学校法人会計基準」に基づく貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記載すること。

② 「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をさす。

表3-8

要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）

（単位：千円）

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産	要積立額	金融資産
退職給与引当金	682,394	166,986	669,748	166,986	657,400	166,986	616,067	166,986	597,455	170,000
減価償却累計額	3,652,433	180,000	3,816,796	220,000	3,388,699	40,000	3,570,747	40,000	3,701,999	140,000
2号基本金引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号基本金引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4号基本金	170,000		170,000		170,000		170,000		170,000	
借入金	474,496		427,840		381,184		338,416		291,760	
未払金・割賦金	43,674		47,515		54,389		41,887		36,731	
その他引当特定資産		0		0		0		0		0
現金預金		1,862,353		2,021,666		1,126,751		1,472,790		1,256,202
有価証券		450		450		450		450		450
未収入金		153,646		77,665		355,105		44,020		193,106
計	5,022,997	2,363,435	5,131,899	2,486,767	4,651,672	1,689,292	4,737,117	1,724,246	4,797,945	1,759,758
総資産		9,611,693		9,580,152		9,473,218		9,336,018		9,303,893

学生生徒納付金に係わる学生数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
京都嵯峨芸術大学大学院	17名	15名	17名	16名	17名
京都嵯峨芸術大学	651名	645名	616名	591名	591名
京都嵯峨芸術大学短期大学部	478名	394名	390名	348名	296名
	名	名	名	名	名
	名	名	名	名	名
	名	名	名	名	名
	名	名	名	名	名
合計	名	名	名	名	名

① 「学生生徒納付金に係わる学生数」の欄には大学及び大学院のほか、同一法人内の他の学校も含めて記載すること。